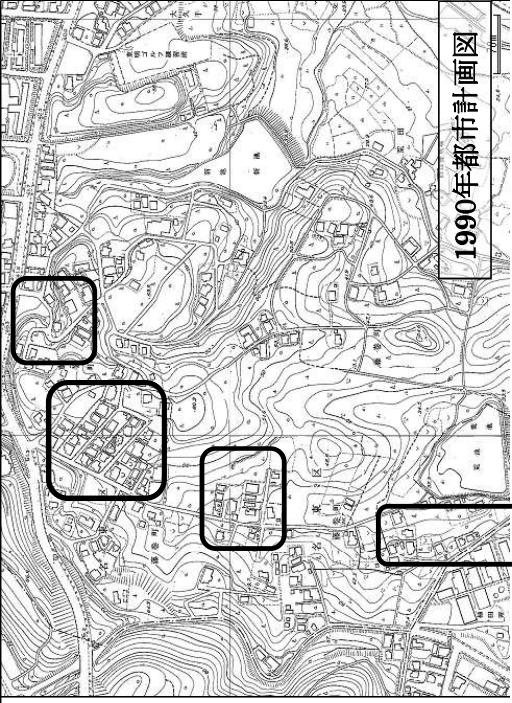


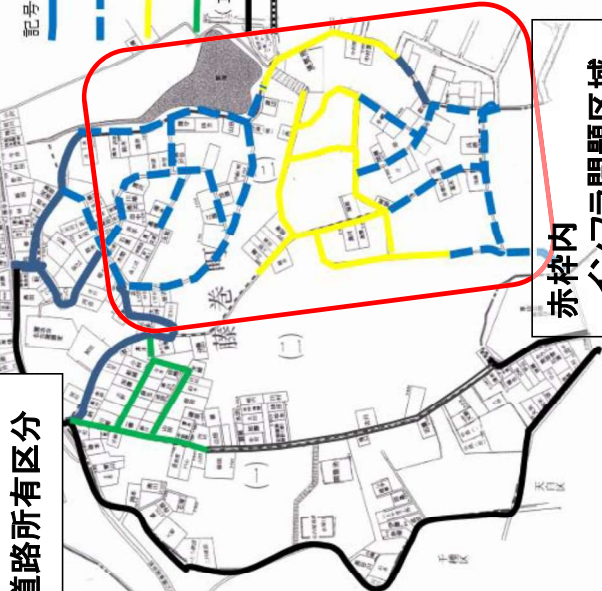
1970年～1990年頃、各区域で小規模開発進む
現在の姿に近い。多くは現在建て替え期を迎えている



1990年都市計画図

道路所有区分

- 道路所有者
- 昭和14年寄付 (大西拓殖→天白村)
- 昭和34年分割売買 (非営利的な私有)
- 高速道路公社買収 (現在は名古屋市所有)
- 昭和39年寄付 (1帯の開発者→名古屋)
- 一般的な市道
- 私有ではあるが市道



赤梓内
インフラ問題区域

未舗装道路

未下水道



1975年に始まった高速道路藤巻町縦断問題は

① 排気ガス ② 森・“まち”の分断
による生活環境・植物への悪影響の防止のため
に、少なくとも完全にトンネル化が必要であり、
住民活動によって一応の目的は達成された。

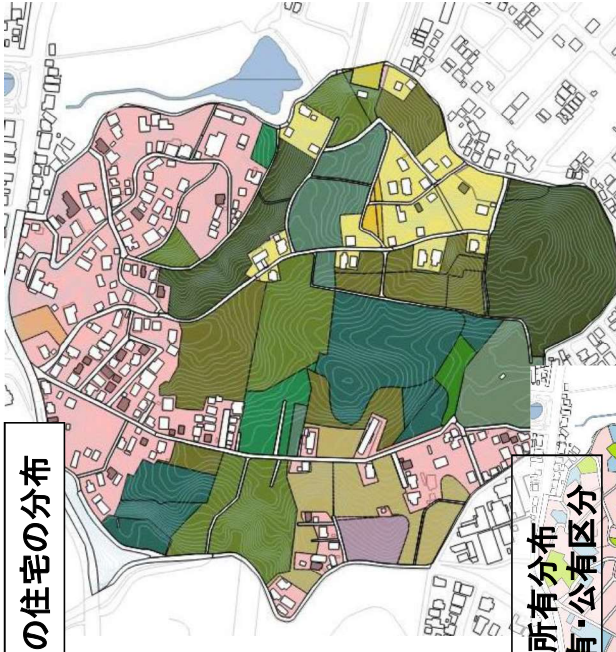
私道問題以外の藤巻課題の原因

- ・高速道路東山トンネル上部の土地・建物は私道も含め2000年頃までに名古屋市に買収された戸数が立ち退いた。
- ・市による公園予定地の先行取得による買収。(2013年で受付中止)
- ・これらにより土地所有関係が複雑である。
- ・東山トンネル上部は公園事業着手されている。その他公有地も多いものも大半は緑地管理が極めて悪く危険な森として存在している。

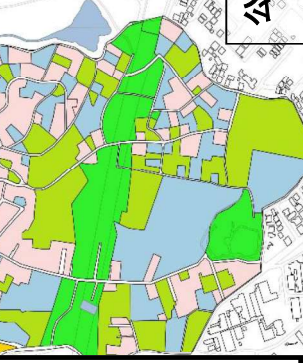


倒木による道路閉鎖

現在の住宅の分布



土地所有分布
私有・公有区分



公有地の道路も荒れている



公園事業が進んでいない状況